

庄原市森づくり事業

22年度参加者募集中

business made with a forest

農林振興課林業振興係 ☎0824-73-1227

広島県の森林の持つ機能を、利水ダムなどの代替物で評価したところ、評価額は年間1兆7,780億円と算出されています。その公益的機能を十分に発揮させるため、市は「ひろしまの森づくり県民税」を財源とする「庄原市森づくり事業」に取り組んでいます。この森づくり事業は、手入れが十分にされていない人工林(スギ、ヒノキ)や里山林(天然林、マツ、広葉樹など)の間伐などを行うものです。事業を実施した森林所有者から「低額の負担金で森林の整備ができた」「荒れた竹林が美しい里山風景になった」など、大変好評です。

現在、平成22年度の事業実施を希望される森林所有者や団体を募集しています。応募締切は2月末日で、応募多数の場合は道路沿いの森林など、事業の目的と成果が市民に実感できる個所を優先して採択します。

ご希望の方は農林振興課または各支所地域振興室へご相談ください。

森林の公益的機能

- 水をたくわえ災害を防ぎます。
- きれいな水を生み出します。
- 空気をきれいにします。
- 多様な動物の生息の場となり、人に安らぎを与えます。
- 二酸化炭素を吸収し地球温暖化を防ぎます。 など

森づくりに 取り組みませんか

- 長年手入れがされていないスギ・ヒノキの森林を所有されている人。
- 里山の森や竹林をきれいにしたい自治振興区や集落の人。
- 荒れて手入れが必要なマツ・広葉樹などの森林を所有されている人。
- 森林に興味があり、森づくりに参加したい人。

事業の内容は

人工林対策

15年以上手入れがされていないスギ・ヒノキの人工林の間伐などが対象になります。

- ①人工林の間伐
- ②台風や大雪による被害木の片づけ(二次災害の防止)
- ③間伐用の作業路の整備

※人工林の間伐には所有者負担金と

里山林対策

して1畝当たり1万円が必要ですが、マツや広葉樹などの里山林の手入れ、間伐材の有効利用、森林・林業体験活動の支援を行っています。

1 里山林整備

①放置された里山林の除間伐・下草刈り

②松くい虫被害跡地の整理

③竹林の伐採および整理による繁茂の防止

④有害鳥獣の生息の場となっている里山林を整備し、野生鳥獣による農作物被害の防止

2 里山保全活用支援

里山林の保全活用に関する住民団体やNPO団体などの自らの取り組みに対する支援。

3 森林・林業体験活動支援

森林の機能や林業について学ぶ体験活動に対する支援。

4 間伐材利用対策

間伐材の有効活用や、木質バイオマスエネルギーの利用普及に関する取り組み。

問い合わせ 農林振興課林業振興係

または各支所地域振興室